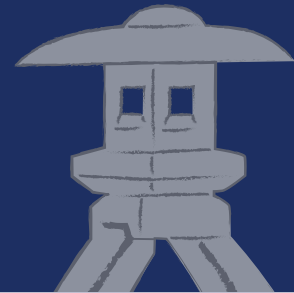


KANAZAWA KOHRINBO ROTARY CLUB

<https://www.kohrinbo-rc.jp>

2023~2024
No.679

2023年9月25日発行



R.I 会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」
「CREATE HOPE in the WORLD」

クラブスローガン

「もっともっと良いクラブにしましょう！
メンバーにとって、地域にとって、
他のクラブにとって」

クラブビジョン2022

「わたしたちは思いっきり変化を楽しみながら
チャレンジ精神にあふれた活気のあるクラブを目指し
地域と共に笑顔あふれる社会を創り出していきます」



ビジョン動画

例会日 毎月曜日 18:30~19:30 例会場 金沢東急ホテル TEL:231-2411

事務所 〒920-0869 金沢市上堤町 1-15 金沢上堤町ビル 3F TEL:222-2525

◆ 卓話ダイジェスト ◆

— 9月4日 —

「誰もが自分らしく暮らせる社会～LGBTQ+について知ろう」

一般社団法人 金沢レインボープライド代表 松 中 権 氏



「ゴン」という自分の名前が嫌いだったと話す松中さん。オーストラリア留学時の名前をネタにした温かな笑い話から、嫌いというネガティブな感情をポジティブに転換する冒頭のストーリーは、落ち着いた声のトーンながらも軽快な語り口で、あっという間に例会の場をトークに引込んでくださいました。

そして、この冒頭のストーリーがただのつかみではなく、LGBTQ+につながる重要な伏線だったと気付いたときには、聴衆を引きこむスピーチ力に感嘆していました。

「ゴンって変わってるね。変な名前で面白いね。」という周囲の声が、次第に「なんで自分ってゴンって名前なんだろう。どうしてこうなっちゃったんだろう。」という苦しみになる……。

こういった体験は、実はLGBTQ+の特徴と一緒なのだそうです。

「ゲイって気持ち悪い、頭おかしいんじゃないの?」「レズビアンってなに?」「トランスジェンダーって意味わかんない。」といった社会の嫌悪感が、いつのまにか当事者の中に埋まってしまい、その人を一番苦しめているということ。こういった嫌悪感は、社会が、我々一人ひとりが「LGBTQ+って当たり前でしょ!」「多様性って大事だよ。」と言うことで溶かすことができるとおっしゃっていました。

その後、わかりやすく具体的なパーソナルストーリーを順にご紹介いただきました。

- ・ 隣の男の子が気になっていた保育園時代
- ・ 好きな人探して「男の子が好きだから僕は女の子なのかな」と迷っていた小学校時代
- ・ 図書館で「ホモセクシャル」を調べたらどの辞書にも「異常」と書かれていて絶望を感じていた中で、空気を演じていた中学生時代
- ・ LGBTQ+の許容度が日本全国で北陸が一番低い（近所の同性愛者に6割、家族の同性愛者に9割が嫌悪感）ことを知り、北陸では暮らしていけないと感じた高校時代
- ・ 陸上ホッケー部という、体育会系の部活でのホモをネタにする笑いの場で「自分の居場所がなくなってしまうかもしれない」「大切な仲間を失ってしまうかもしれない」と一緒に笑って恐怖を感じ、オーストラリアへ留学しようと決めた大学時代
- ・ カミングアウトの場で「ここで言わないとまた同じ人生がスタートしてしまう」と勇気を出して「I am gay」と言ったら、「I see (あっそう)」「Any Boy friend? (ちなみに

彼氏は?)」と返ってきて、「この国ってこんなことが言えるんだ」と思った瞬間に涙があふれてきたオーストラリアへの留学時代

- ・電通の方にお会いして日本にもう一度戻る選択をし、最初の8年間はクローゼット（洋服ダンスの中に自分を仕舞いこむように、偽の姿で暮らしている）、後半8年間はニューヨークでカミングアウト。途中、自分のことを押し殺して会社との関係を自ら薄くしていたことに気づき、「職場を変えよう」「おうちを変えよう」「社会を変えよう」とさまざまな場づくりのための「グッド・エイジング・エールズ」というNPO団体を2010年に立ち上げる
- ・2016年8月4日、3.11以降の日本の復興を世界中に届ける「ジャパン・ハウス」という国の事業の立ち上げがあり、すごい高揚感の中で知った「一橋大学ロースクールでのアウトティング転落事件*」—— 自分自身がまさに一橋大学のゲイだったということ、自分自身はカミングアウトもできてラッキーだと思っていた中で、25歳の学生がゲイであるというだけで命を落としていたことに大きなショックを受け、翌年電通を退社し、LGBTQ+の様々な活動へ

* 2015年4月に一橋大学法科大学院においてゲイの学生から同性愛の恋愛感情を告白された異性愛の男性が、その後の共通の友人関係や告白後のゲイの学生の言動に悩んだ後に、友人ら7人にグループメッセージでその学生が同性愛者であることを暴露したこと（アウトティング）をきっかけとして、ゲイの男性が心身に変調をきたし転落死したとされる事件（Wikipediaより転載）

そして、現在の活動内容をいくつかご紹介いただきました。

- ・LGBTQ+を様々な方に知ってもらうための「プライドハウス東京」の立ち上げ
- ・金沢の堅町で「金沢にじのま」という安心安全の居場所を作り、LGBTQ+のパレードなども行っている一般社団法人金沢レインボープライドの立ち上げ
- ・ゲイなんだけど子供がいて、3人で子育てをしているという話（「3人で親になってみた ママとパパ、ときどきゴンちゃん」という本をアマゾンでポチっとして、4歳と2歳の子供のオムツ代をサポートしましょう!）



Amazon

最後に、LGBTQ+のおさらい。

- ・LGBTは、「Lesbian（レズビアン）」、「Gay（ゲイ）」、「Bisexual（バイセクシュアル）」、「Transgender（トランスジェンダー）」の頭文字
- ・Q+は、「Queer（クイア）／Questioning（クエスチョニング）」の頭文字
- ・どうしてもLGBTの4つのカテゴリーしかないように見えるが、性は本当に多様で、それを表現するためにQをつけたりプラスをつけたりする
- ・世界の人口の5～10%がLGBTQ+
- ・日本では人口の8%が左利き、AB型は人口の10%、日本のトップ4の名字である佐藤・鈴木・田中・高橋は日本の人口の5%、それと同じくらいLGBTQ+は自分たちの身近にいて、自分のことを明かしていない
- ・明かさないのは自分にリスクがあるから、リスクがあるのは差別や偏見がまだまだ社会にあるから
- ・LGBTQ+の方々ではなくても「アライ（Ally）」とよばれる仲間が、LGBTQ+の方々が身近に必ずいると理解し、自分はウェルカムだよとカミングアウトしてくれることで、少しずつでも変わるかもしれない
- ・アライのカミングアウトの一つのきっかけとして、「金沢プライドウィーク／金沢プライドパレード」という場を活用してほしい。今年は10月7日（土）～9日（月・祝）に開催予定



イベント情報

20分の卓話時間があっという間に過ぎていきました。LGBTQ+の方の心の変遷に考えさせられ、LGBTQ+の理解を深め、金沢でのLGBTQ+の活動を知ることができました。これらの学

びだけでも非常に有益な時間となりましたが、ゴンさんご自身が金沢東RCの国際ロータリー親善奨学生でいらっしやったこともロータリアンとしての縁を感じさせられました。

「クラブビジョン2022」では「地域と共に笑顔あふれる社会を創り出していきます」というフレーズがあります。また、クラブ運営に関するアクションプランでは「多様性に富む会員層の拡大を推進する。①年齢層の多様性だけではなく、ジェンダーや国籍にとらわれることのない柔軟なクラブへ」と設定しています。今回のゴンさんの卓話は、金沢香林坊RCのビジョンの実現につながる重要な要素を投げかけていただけ、また、北川会長体制から3ヶ月が過ぎようとしている中で改めてクラブビジョンを意識する良いタイミングだったのではないのでしょうか。(神社)

－ 9月11日－

「最近の建設業界の動向について」

金沢香林坊RC会員 プログラム委員長 鈴 野 孝 君

鈴野さんより、建設物価調査会が出している金沢の建設費上昇率の資料が配布され、説明いただきました。



・発注単価が、2015年（8年前）を100として、どれだけ上昇したかという数値指数。2023年5月時点では2割7分上昇、2013年から見ると3割6分上昇。ただし、これは現時点で取り決めている数字

・最近ゼネコンからは、9月以降もさらに上昇するだろうという見込みのもと、今現在の見積もりとしてはさらに2割ほど上がってきている。この建設費上昇の要因は「要求性の高度化（政

府が進めるゼロエネルギービルディング）」、「円安による物価上昇」、「ウクライナ情勢による世界の物流の変化」、「人材不足（外国人含む）による人件費の高騰」が挙げられる。今の段階では仕事の方が多く、日本全国の価格は高止まりしている

- ・大手中堅ゼネコンは、「東京都内のビッグプロジェクト（都心再開発）」、「熊本での1000億円の台湾の電子系会社（TSMC）の進出と付随する会社の工場建設」、「大阪万博」でお腹がいっぱい。ただし石川県の地元ゼネコンは再来年くらいが踊り場で、営業担当が設計事務所にやってくるようになった
- ・石川県では、産業展示館や市民病院などはまだあるが、もう少し先では役所の大型プロジェクトはない
- ・物価上昇を価格転嫁していけない企業は銀行からの融資も受けられず、地元の民間の仕事は減っていく
- ・ゼネコンが今後できるのは販管費を削ることだが、どれだけ下がっても3-5%程度で、この先しばらくはあまり下がらない。中小規模で5%以上下げようとする、受注はしたけれどこなせないということで倒産してしまう
- ・設計業界も今手掛けている仕事でも中止になってしまうことがあり、コンストラクションマネジメント事業に業態転換し始めた。したがってこれからの建設業界は非常に大変であり、投資する側は上述のような現状を考慮してしっかりとした事業計画を練っていただきたい

建設業界の厳しい状況を論理的に示していただき、非常に勉強になりました。ロータリーは様々な業界・職種の方が集まっているので、今回のような卓話の場に限らず、普段のロータリアン間のコミュニケーションからも学べることが多いのがRCの価値の一つだろうと再認識させていただきました。(神社)

米山奨学金渡し／米山奨学会からの奨学生修了証明書授与

北川会長からパクさんへ、奨学金と修了証明書が渡されました。

パクさんは9月で修了になりますが、地区には延期申請をしているとのことで、結果はまだわかりませんが、とりあえず最後の日ということで感謝の意を伝えてくださいました。また恩返しとして、自分にできることが何かあれば言ってほしい。そして機会があればチベット青海省にも来てほしいとのことでした。その際はパクさんが案内をしてくれるそうです。



交換学生お小遣い渡し

北川会長からエミリンさんへお小遣いが渡されました。

エミリンさんは日本語がどんどん上手になっていて、8月に東京に行ってきた話や、学校の文化祭で3つのダンスをしたことをスムーズに話してくださり、「めっちゃ楽しかった」とのことでした。



金沢百万石RC事業PR

金沢百万石RC 助 田 忠 弘 氏

9月9日（土）に行われる堅町ストリートでの子供食堂応援に関する、地区補助金の事業をご紹介します。

当初は「軽トラ・ファーマーズマーケット」として野菜や果物の販売を企画していたそうですが、今年は野菜や果物が暑さで不足しているため、キッチンカーやいろいろなお菓子などを並べる予定とのことでした。

またこの企画は、発生した売上の2割を子ども食堂へ寄付する設定をしているとのことで、当日は金沢香林坊RCからも多くの方に参加していただき、財布の紐を緩めてほしいとのお願いがありました。



活 動 紹 介

ゴルフ同好会

第122回ゴルフコンペが9月10日に開催されました。24名が参加して、栄えある優勝は岡部会員、シニア優勝は小杉会員でした。

朝のミーティングで野村同好会長から「今日は競技会ではなく親睦会です」と挨拶があったものの、粘りづよく深いラフに苦勞し、疲勞困憊な様子。とはいえ、表彰式では仲林会員の輕妙な司会に大いに笑い、怪我人もなく楽しく一日を過ごすことができました。

お世話いただいた幹事の皆さん、ありがとうございました。
(フェイスブックページからの転載)



ランニング同好会



金沢マラソンに向けて、秋の練習会を開始しました。

先週はUTMB 40 kmを走破してきたメンバーもいて、今日は軽く1時間で6 kmほど、辰巳用水沿いを走りました。朝晩も涼しくなり気持ち良かったです。

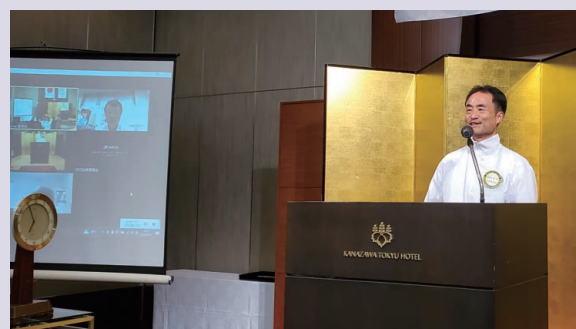
9月の連休には、金沢マラソンコースの試走も計画中。運動の秋、満喫します。
(フェイスブックページからの転載)

事 業 P R

社会奉仕担当副委員長 別 所 孝 洋 君

9月23日(土)に開催される「かなざわ防災フェスタ」のお知らせと、案内チラシ配布のお願いがありました。

会員の皆様ご協力をお願いします。



9 月度 皆出席表彰

9 月度の皆出席表彰が 9 月 11 日（月）の例会で行われました。

岡崎 寛会員（12 年）、木村聖司会員（7 年）、米田稔会員（7 年）、仲林將貴会員（5 年）の 4 名が表彰されました。おめでとうございます。

